

氏名

点数

点/100点

各論演習 21-1

問1)

当社はケーキを主力製品とするスイーツ生産・販売の運営会社である。国内で10の支店を持っているが、なかでも金沢市の小坂店の成長が今年の4月よりめざましく、新しくタピオカドリンクも商品に加えるか否かを検討中である。

タピオカドリンクの製造・販売に要する月間の原価予測

製造・販売量		500杯	750杯
材料費	ミルク	10,000円	14,800円
	紅茶の茶葉	7,500円	11,250円
	上白糖	1,500円	2,250円
	タピオカ粉	19,000円	28,500円
燃料費		1,000円	1,300円
料理人給料		19,950円	19,950円
設備減価償却費		90,000円	90,000円
修繕・維持費		12,506円	12,906円
雑費		1,000円	1,000円
合計		162,456円	181,956円

- 【問】 タピオカドリンク製造・販売に要する月間の原価予測データにおける合計額を利用して、高低点法における原価分解を行って、月間の原価予想総額（Y）を $Y = aX + b$ の形で答えなさい。ただし、 $a =$ 変動費率、 $b =$ 月間の固定費、 $X =$ タピオカドリンクの製造・販売数とする。

解1)

月間の原価予想総額 =

円/杯×タピオカドリンク製造・販売量 +

円



氏名

点数

点/100点

各論演習 21-2

問1)

当社の小坂工場の直接作業時間 (X) と補助材料費 (Y) の実績記録は、下記のとおりである。これらはすべて正常なデータである。

月	直接作業時間 (X)	補助材料費 (Y)
4月	5,000時間	2,080千円
5月	4,000時間	1,800千円
6月	3,000時間	1,600千円
7月	5,000時間	1,840千円
8月	6,000時間	2,360千円
9月	7,000時間	2,320千円

【問】 補助材料費の原価線は、 $Y = aX + b$ で表されるものとして、上記のデータにもとづき、最小自乗法によって a (変動費率) と b (固定費) を求めなさい。

解1)

a = 円/時b = 円

氏名

点数

点/100点

各論演習 21-3

問1)

スイーツショップ小坂店における新商品であるタピオカドリンクについて、下記の資料にもとづき、各設問に答えなさい。

(資料)

当月販売数量	700杯
単位あたり販売価格	390円
単位あたり変動費	78円
月間固定費	123,456円

【設問1】

当月の予想営業利益を求めなさい。

【設問2】

月間の損益分岐点における売上高を求めなさい。また、月間何杯以上売れば、営業損益がプラスとなるか。

【設問3】

当月の安全（余裕）率を求めなさい。（小数第2位を四捨五入すること。）

【設問4】

当月の経営レバレッジ係数を求めなさい。（小数第2位を四捨五入すること。）

【設問5】

来月に売上高が20%増加したときの予想営業利益増加額を、設問4で答えた経営レバレッジ係数を用いて計算しなさい。（小数第1位を四捨五入すること。）

解1)

【設問1】

予想営業利益 円

【設問2】

売上高 円

販売数量 杯

【設問3】

安全（余裕）率 %

【設問4】

経営レバレッジ係数

【設問5】

予想営業利益増加額 円